

Symbols of KATORI CITY

市民憲章

[平成23年3月制定]

Citizen charter

わたくしたちの香取市は、雄大な利根の流れと肥沃な北総台地に育まれ、香取の杜や伝統的な町並みをもつ、豊かな自然と長い歴史のあるまちです。

わたくしたちは、この郷土を愛し、市民協働による住みよいまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一 水や緑を大切にし、美しいまちをつくります。
- 一 地域の歴史を大切にし、文化の香り高いまちをつくります。
- 一 きまりを守り、平和で安心なまちをつくります。
- 一 とともに学び、ともに働き、活気あふれるまちをつくります。
- 一 お互いに助けあい、笑顔で暮らせるまちをつくります。

市章

[平成18年9月制定]

City emblem

美しい水辺の自然、広大な水田と里山の自然、未来に広がる青空を香取市(Katori)の頭文字「K」に重ね、鳥の羽ばたく形にシンボライズ。躍動感ある形は、香取市の美しく雄大な自然と未来への発展を象徴しています。



市の花木鳥

[平成19年3月指定]

City flower, tree, and bird



アヤメ[Iris]

利根川を中心に小野川、黒部川、栗山川など豊かな水辺に恵まれている香取市において、アヤメは水辺を代表する花として、広く市民から親しまれています。また、160万本のアヤメ類が植栽される水郷佐原あやめパークは、全国から多くの観光客が訪れる観光名所です。これらのことから、地域のシンボルとなっているアヤメを市の花とします。



サクラ[Cherry tree]

市内には、諏訪公園、城山公園、橘ふれあい公園、香取神宮など多くのサクラの名所があり、広く市民から親しまれ、愛されています。また、今後、さらに多くの植樹によって、より香取市のイメージアップに繋がることを願い、市の木とします。



ヨシキリ[Reed warbler]

葦原の中で賑やかにさえずる様は、古くから水郷の風物詩として語り継がれ、多くの唄や俳句にも詠まれるなど、市民にも大変馴染み深い鳥です。また、日本水郷の中心をなす香取市のシンボルにふさわしいことから、市の鳥とします。

姉妹都市・友好都市

Sister cities and friend cities

兵庫県川西市[平成22年7月締結]

福島県喜多方市[平成24年7月締結]

佐賀県鹿島市[平成28年4月締結]

茨城県つくばみらい市[平成30年1月締結]

災害時相互応援協定

Agreement for Mutual Cooperation at the Time of Disaster has been concluded with:

兵庫県川西市[平成25年11月締結]

福島県喜多方市[平成24年10月締結]

愛知県安城市[平成25年2月締結]

岩手県山田町[平成25年3月締結]

佐賀県鹿島市[平成28年4月締結]

発行にあたって



香取市は水郷の風情が漂う水辺、穏やかな姿を見せる丘陵地など、水と緑に恵まれた自然の豊かなまちです。また、利根川舟運の繁栄を偲ばせる町並みや、数多くの史跡や伝統文化が残されている歴史の薫り豊かな地でもあります。さて、香取市が誕生して早いもので13年目になりますが、今年は、わが国で初めて実測による日本地図を作成した郷土の偉人である伊能忠敬翁の没後200年という記念すべき年となります。

また、今後10年間の香取市のまちづくりの指針となる「第2次香取市総合計画」がスタートする年でもあります。

今回、伊能忠敬翁や総合計画の特集のほか、震災の記録となった「香取市市勢要覧2012」以降の災害復興も含めた歩み、そして日本遺産認定や佐原の山車行事のユネスコ無形文化遺産登録など、文化・観光面で注目される出来事も紹介しております。

ふるさと香取市への理解を深めていただくため、本冊子をご活用いただければ幸いに存じます。

平成30年3月

香取市長 宇井 清一

Preface to "A Profile of the City of Katori 2018"

Our home town, Katori, is a city blessed by Mother Nature, rich in water and green landscapes such as tasteful Suigo (river districts) and peaceful hilly areas. Katori is also a city rich in history, filled with historic sites and traditional culture, including a great townscape reflecting the prosperity of Tone River water transportation.

Nearly 13 years have passed since the creation of Katori City, and this year commemorates the 200th anniversary of the death of Ino Tadataka, a legendary figure of Katori and the first person to complete a survey map of Japan.

Moreover, this year, we will launch the Second Katori City Comprehensive Plan, which will serve as a guideline for town planning in Katori for the next 10 years.

"The 2018 Profile of the City of Katori" features Ino Tadataka and the Comprehensive Plan. In addition, you can read about the town planning involved in the Great East Japan Earthquake reconstruction activities implemented after the publication of "A Profile of the City of Katori 2012," which served as a record of the Earthquake. Finally, you can enjoy articles about exciting cultural news and sightseeing in Katori, such as its Japan Heritage site designation and the registration of its Sawara Float Festival on UNESCO's Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity.

We hope this pamphlet will offer a comprehensive guide to discovering the charms of Katori City for those who wish to know more about our city.

March 2018

Seiichi Ui, Mayor of Katori City